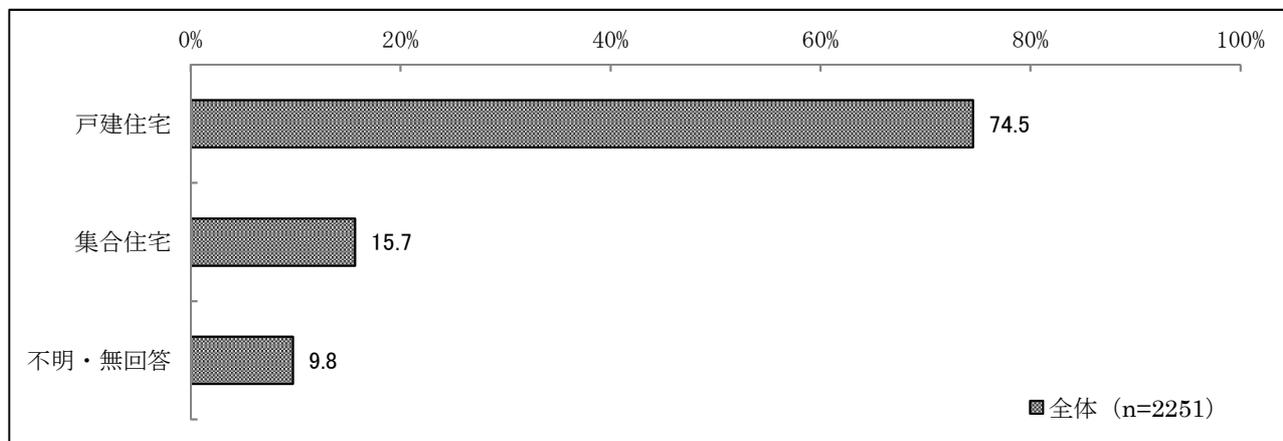


2. 居住に関する意向について

(1) 住み始めた当時の状況

問3 あなたの“現在”のお住まいについて、“住み始めた当時の状況”として当てはまる項目を、下記の選択肢からそれぞれ番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

① 『戸建-集合』別



— 「戸建住宅」が7割超え —

【全体結果】

「戸建住宅」(74.5%)が7割を超え、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図2-1-1参照)

① 地区別

「戸建住宅」は、中央区(58.0%)で割合が最も低く、中央区以外の地区では7割を超えた。割合が最も高かったのは、西蒲区で86.0%となった。

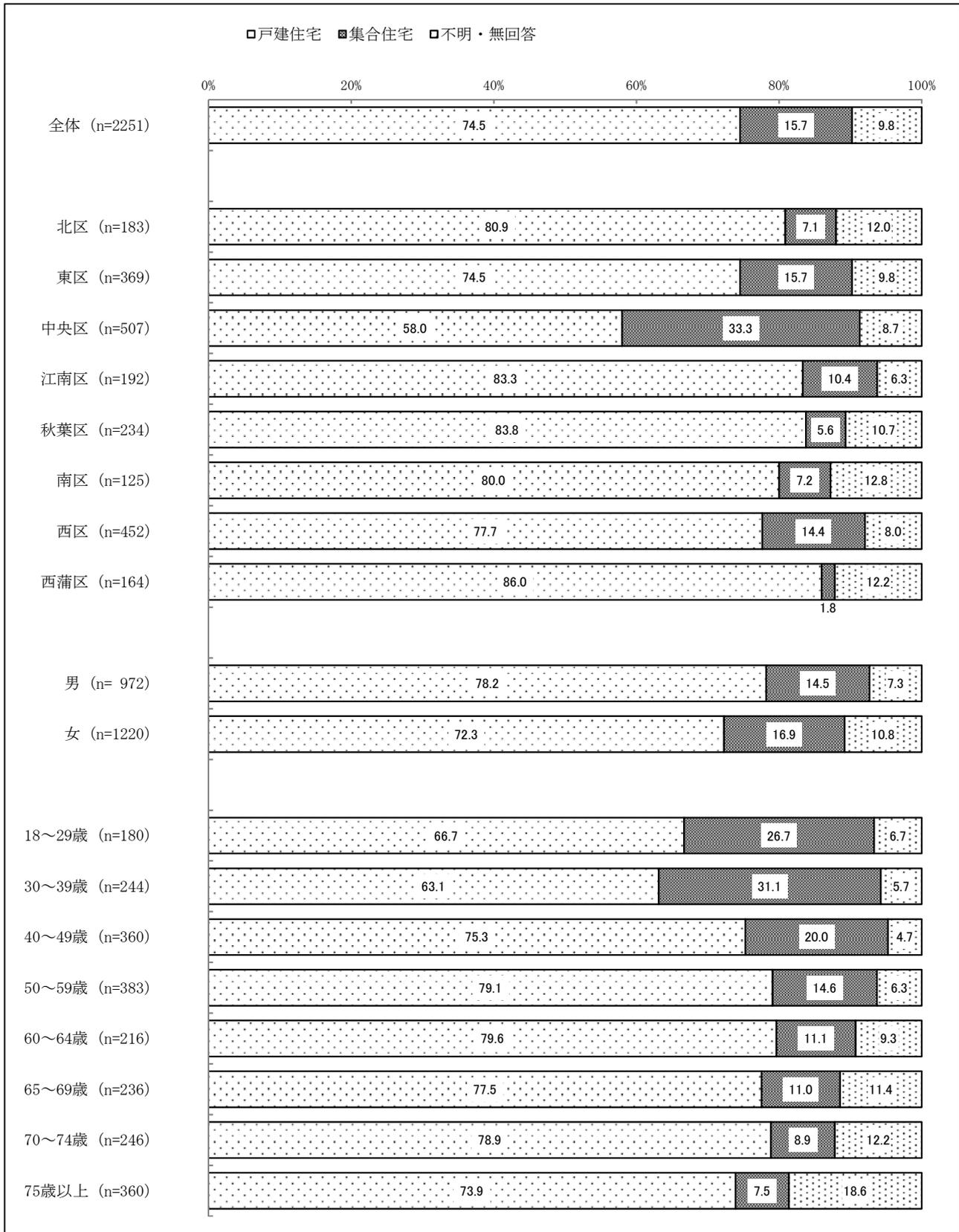
② 性別

「戸建住宅」は、女性(72.3%)と比較して男性(78.2%)の割合がやや高い。

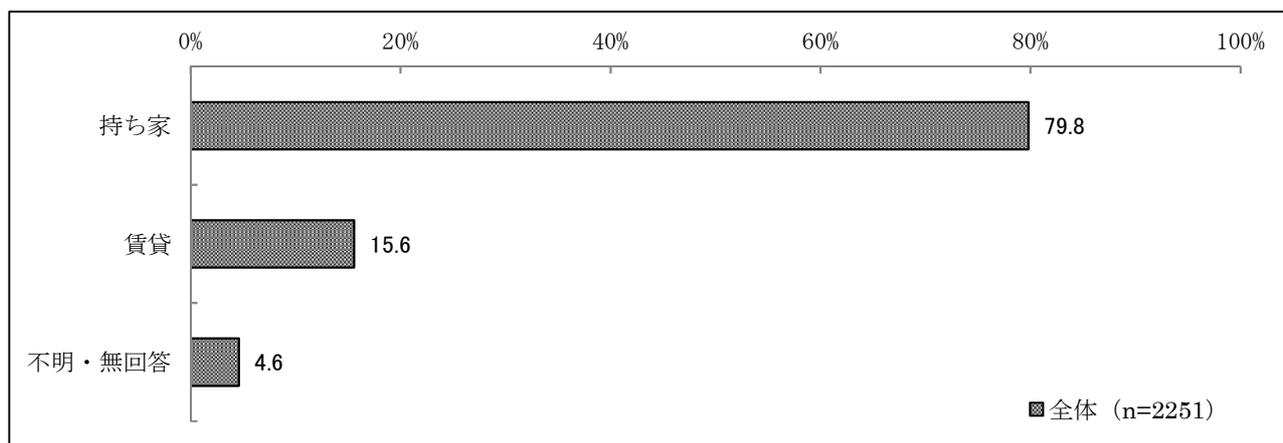
③ 年齢別

「戸建住宅」は、18～29歳(66.7%)、30～39歳(63.1%)の若年層で割合がやや低い。

図 2-1-1 住み始めた当時の状況 ①『戸建-集合』別（地区別/性別/年齢別）



② 『持ち家-賃貸』別



— 「持ち家」が8割以上 —

【全体結果】

「持ち家」(79.8%) が約8割となり、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図 2-1-2 参照)

① 地区別

「持ち家」は、中央区(70.2%)で割合が最も低く、その他東区(75.6%)を除いて8割を超えた。

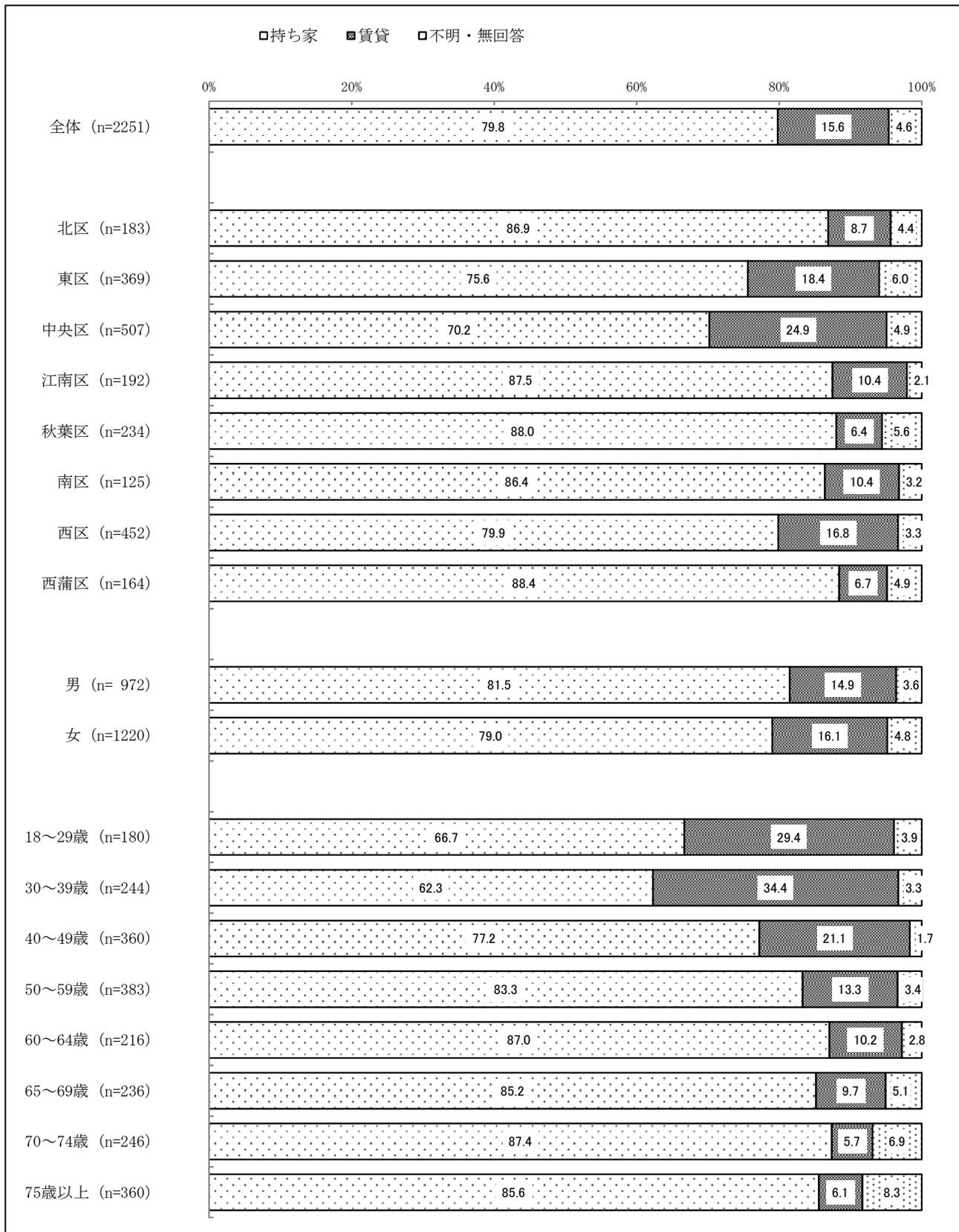
② 性別

「持ち家」は、女性(79.0%)と比較して男性(81.5%)の割合がやや高い。

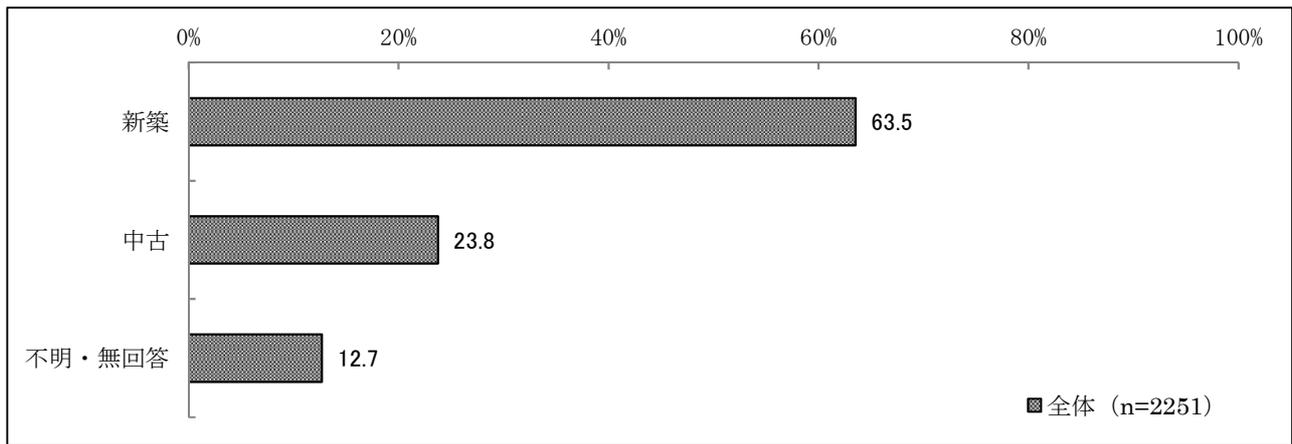
③ 年齢別

「持ち家」は、18~29歳(66.7%)、30~39歳(62.3%)の若年層で割合がやや低い。

図 2-1-2 住み始めた当時の状況 ②『持ち家-賃貸』別（地区別/性別/年齢別）



③ 『新築-中古』別



— 「新築」が6割以上 —

【全体結果】

「新築」(63.5%)が6割を超え、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図2-1-3参照)

④ 地区別

「新築」は、江南区(76.6%)、秋葉区(71.8%)で割合が高く、中央区(52.3%)で割合が最も低くなった。

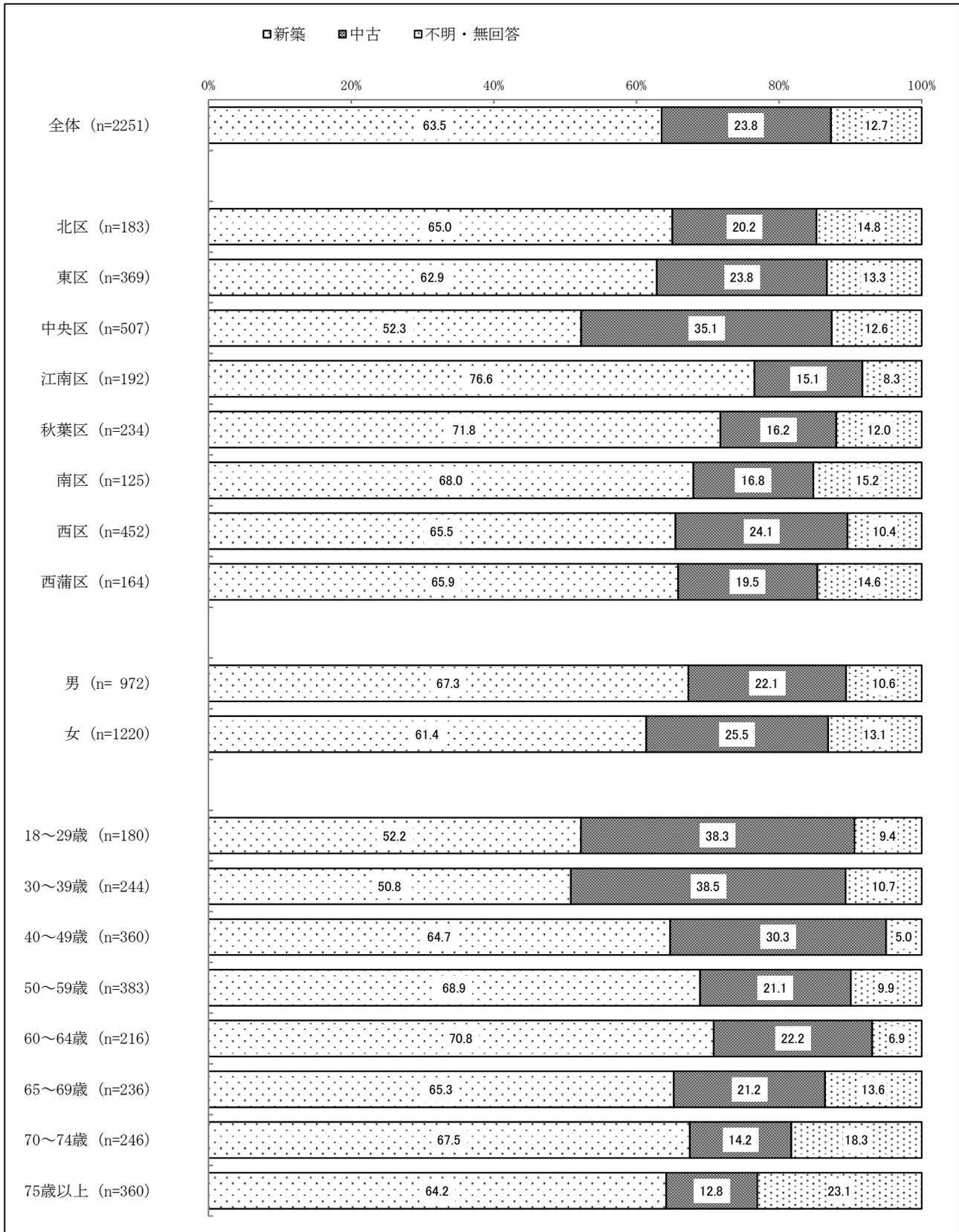
⑤ 性別

「新築」は、女性(61.4%)と比較して男性(67.3%)の割合がやや高い。

⑥ 年齢別

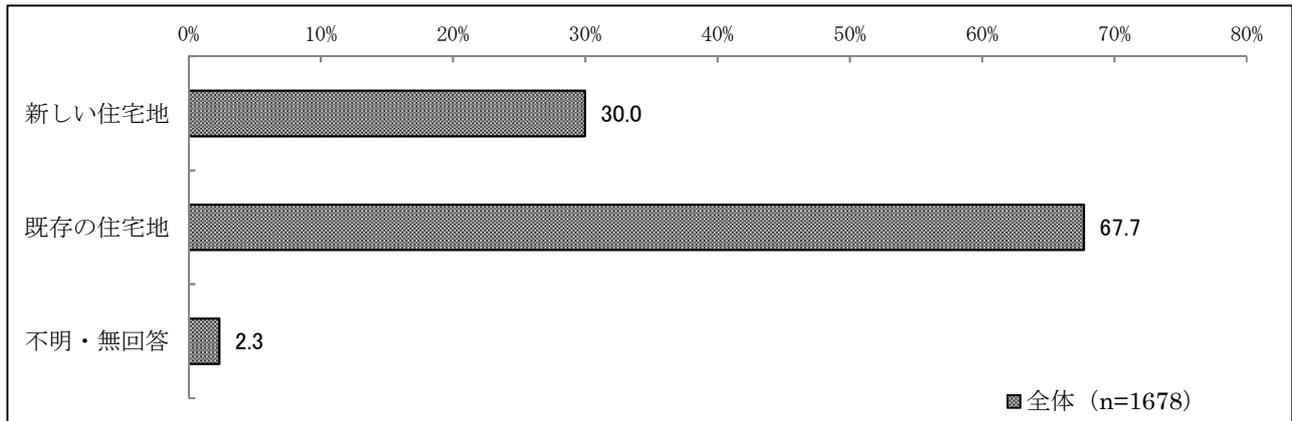
「新築」は、18~29歳(52.2%)、30~39歳(50.8%)の若年層で割合がやや低い。

図 2-1-3 住み始めた当時の状況 ③『新築-中古』別（地区別/性別/年齢別）



④ 住宅地について

問3 上記で、「1. 戸建住宅」を選択した場合のみ番号を1つ選んで○をつけてください。



— 「既存の住宅地」が約7割 —

【全体結果】

「既存の住宅地」(67.7%)が約7割、「新しい住宅地」が3割となった。

【属性別結果】(次ページ図2-2参照)

① 地区別

「既存の住宅地」の割合は、西蒲区(81.6%)、中央区(76.9%)で高い。

② 性別

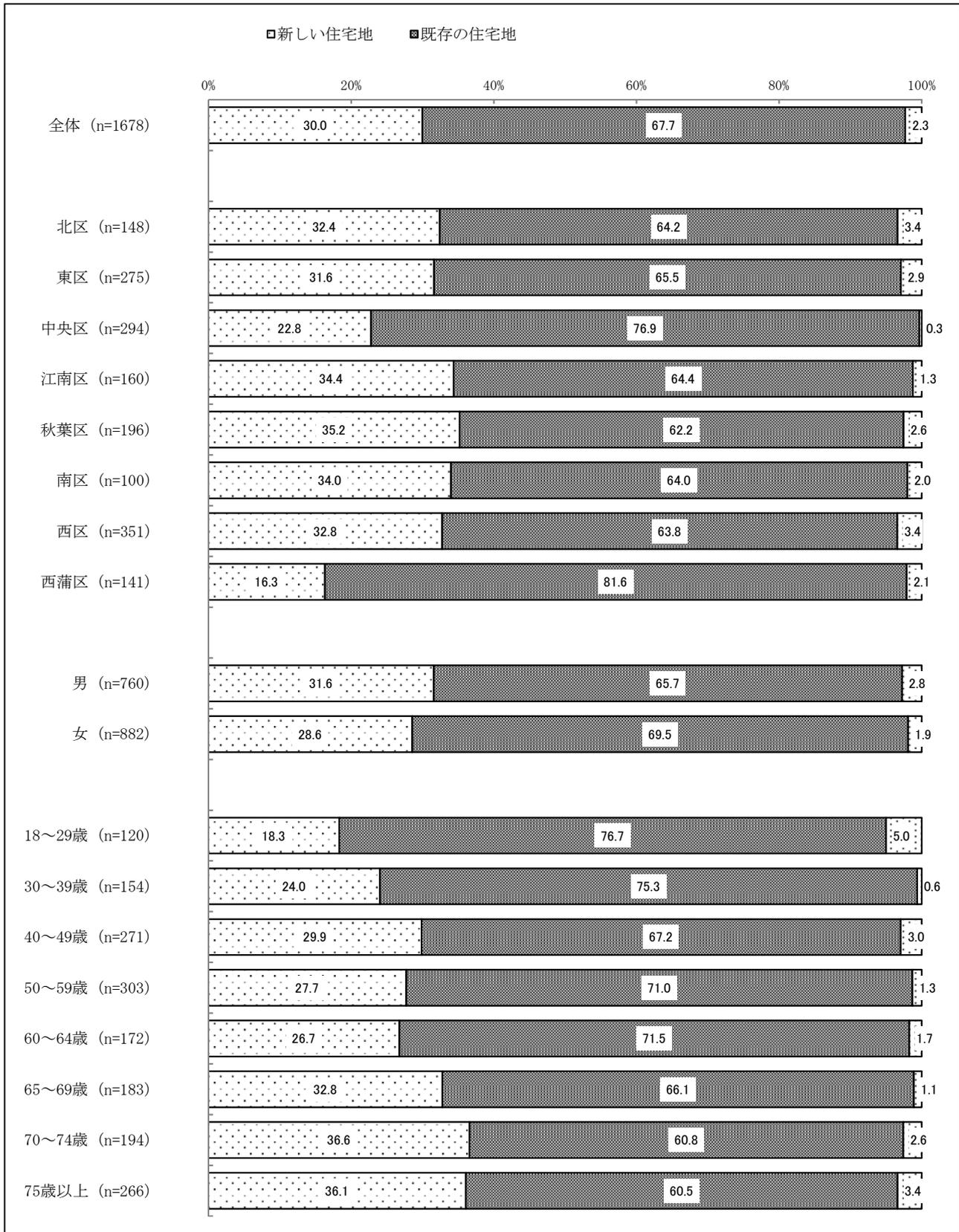
「既存の住宅地」の割合は、男性(65.7%)と比較して女性(69.5%)で若干高い。

③ 年齢別

「新しい住宅地」の割合は、70~74歳(36.6%)、75歳以上(36.1%)の高齢層で高く、「既存の住宅地」の割合は、18~29歳(76.7%)、30~39歳(75.3%)の若年層で高い。

70歳以上の方が住宅を購入する際、新しい住宅地の開発が盛んだった時代背景が窺える。

図 2-2 住み始めた当時の状況 ④ 住宅地について（地区別/性別/年齢別）

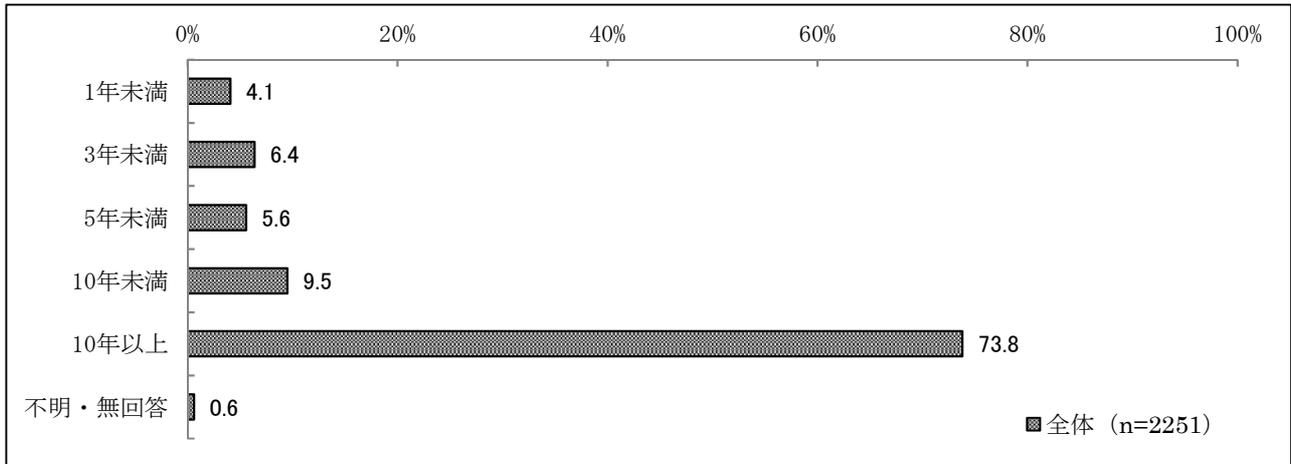


(2) 現在の住まいに住んでいる期間と以前の住まい

問4 あなたは、“現在”のお住まいにどのくらいの期間住んでいますか。

また、“現在”のお住まいに住む以前はどこに住んでいましたか。(〇はそれぞれ1つだけ)

①現在の住まいに住んでいる期間



— 「10年以上」が7割以上 —

【全体結果】

「10年以上」(73.8%)が7割を超え、割合が最も高い。「1年未満」(4.1%)で割合が最も低い。

【属性別結果】(次ページ図2-3参照)

① 地区別

「10年以上」については、全ての区で割合が最も高く、西蒲区(82.3%)、北区(80.3%)では8割を超えた。中央区(65.5%)、西区(72.8%)ではやや割合が低く、「10年未満」が約1割となった。

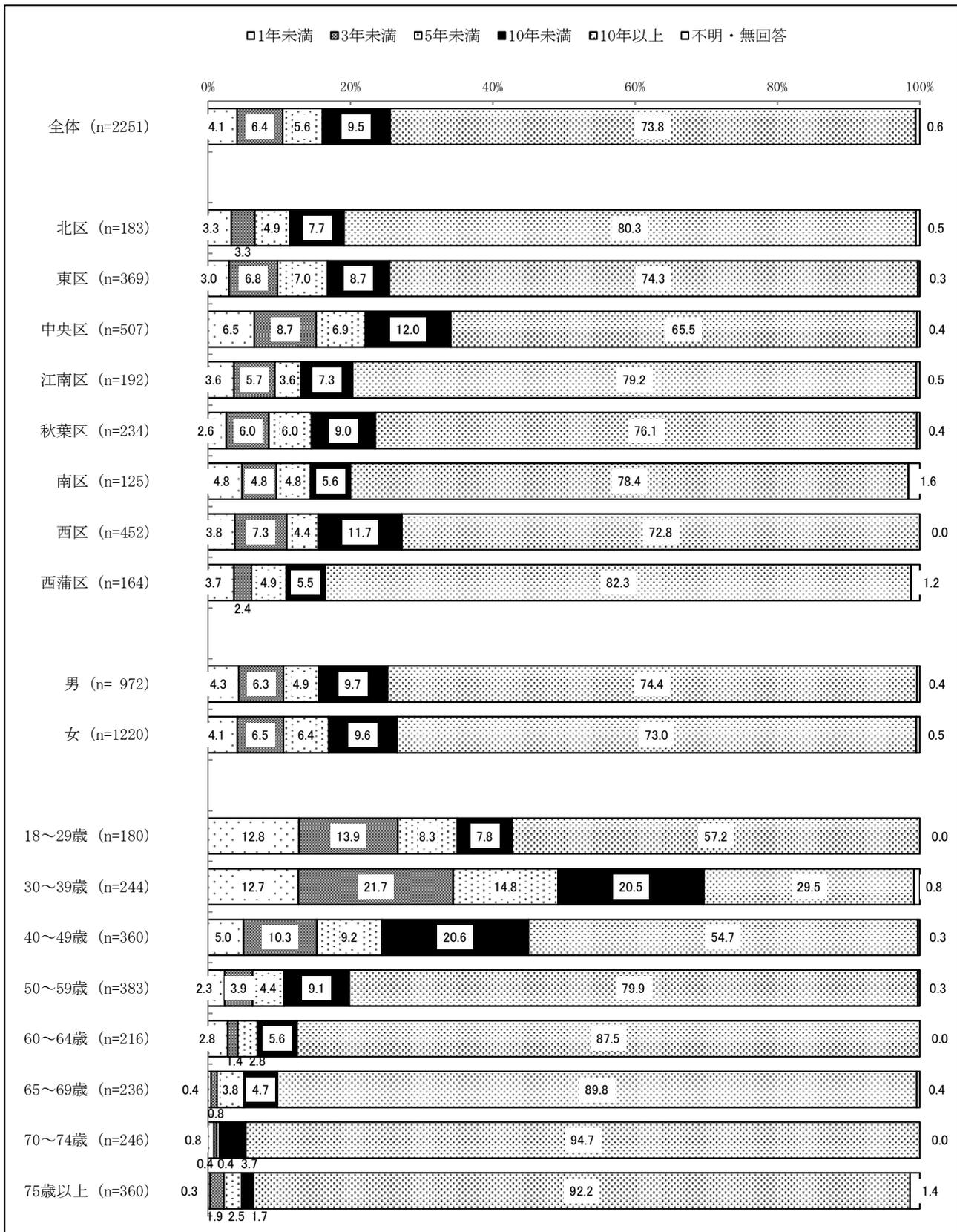
② 性別

ほとんど差はみられない。

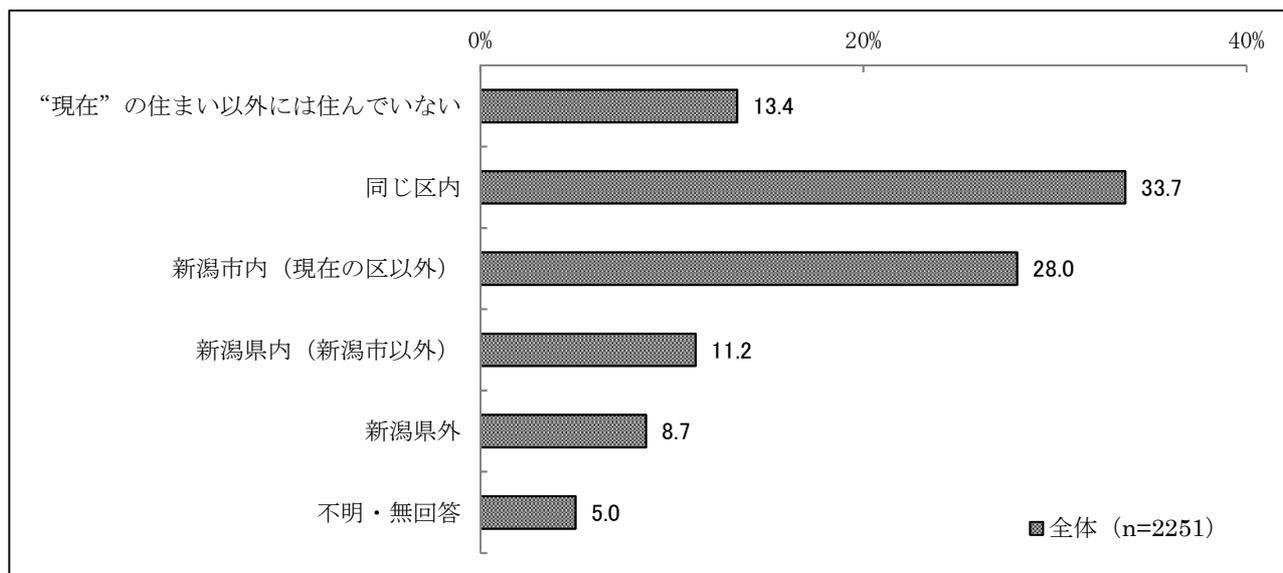
③ 年齢別

「10年以上」については、60歳以上の高齢層で約8割となった。30～39歳(29.5%)で割合が最も低い。

図 2-3 現在の住まいに住んでいる期間（地区別/性別/年齢別）



② 『以前の住まい』



— 『“以前”のお住まい』は「同じ区内」、「新潟市内」が約3割 —

【全体結果】

「同じ区内」(33.7%)が3割を超え、割合が最も高く、次いで「新潟市内（現在の区以外）」(28.0%)で割合が高かった。「“現在”の住まい以外には住んでいない」(13.4%)と「同じ区内」(33.7%)を合わせた『同じ区内計』(47.1%)は5割弱、「新潟市内（現在の区以外）」(28.0%)を合わせた『新潟市内計』(75.1%)は4人に3人を占めている。「新潟県外」(8.7%)からの移住は、1割弱となった。

【属性別結果】(次ページ図2-4参照)

① 地区別

「“現在”の住まい以外には住んでいない」と「同じ区内」を合わせた『同じ区内計』は、西蒲区(57.3%)で割合が最も高く、「新潟市内（現在の区以外）」を合わせた『新潟市内計』は、東区(80.2%)、西区(78.5%)で高く、約8割になった。

北区では、「新潟県外」(14.8%)の割合が他地区と比較して高い。秋葉区では、「新潟県内（新潟市以外）」(18.4%)の割合が他地区と比較して高い。

② 性別

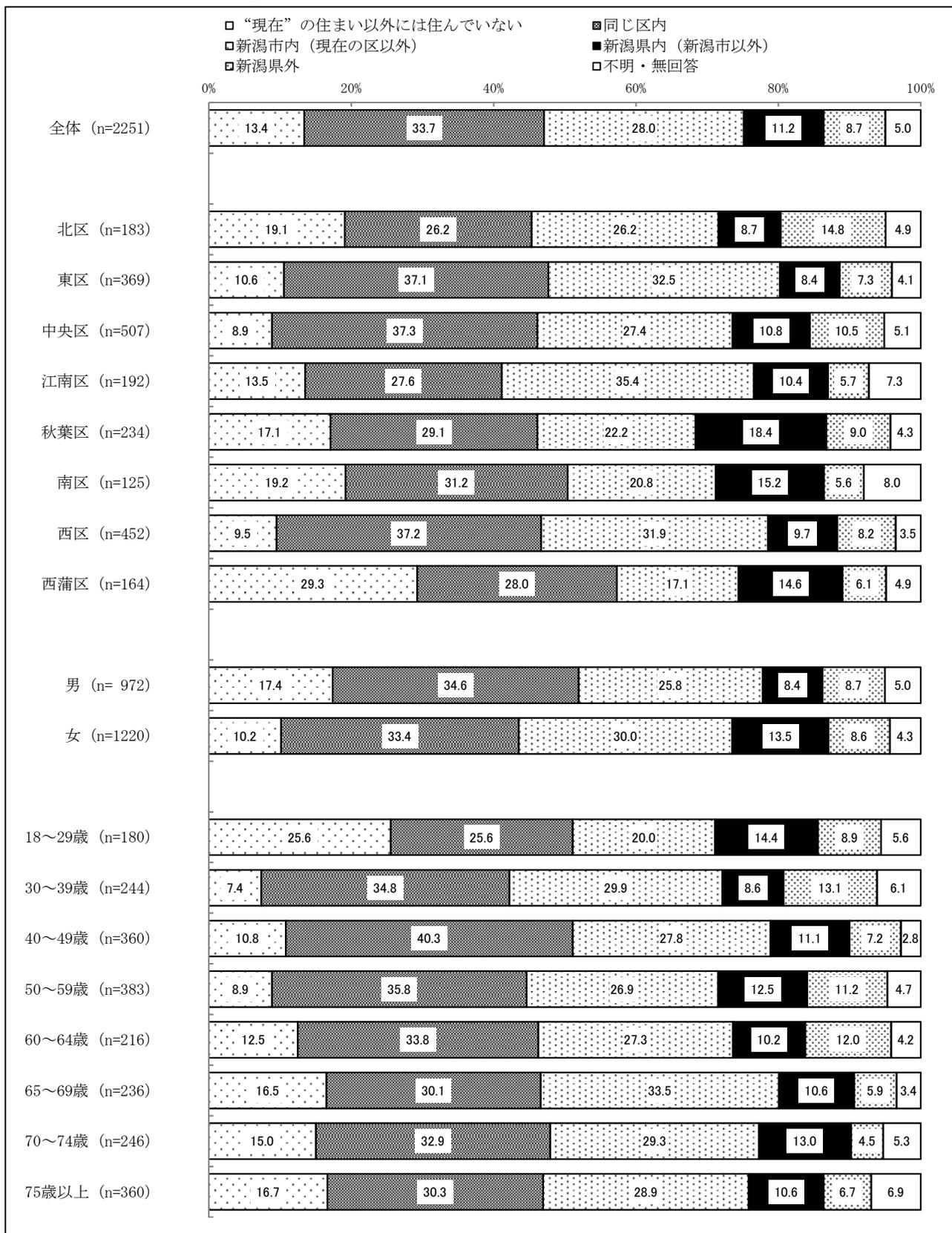
『同じ区内計』と『新潟市内計』いずれも、女性(各43.5%、73.5%)と比較して男性(各52.0%、77.8%)で割合が高い。

③ 年齢別

『同じ区内計』の割合は、18～29歳(51.1%)、40～49歳(51.1%)で高く、5割を超えた。『新潟市内計』の割合は、65～69歳(80.1%)で最も高く、8割となった。

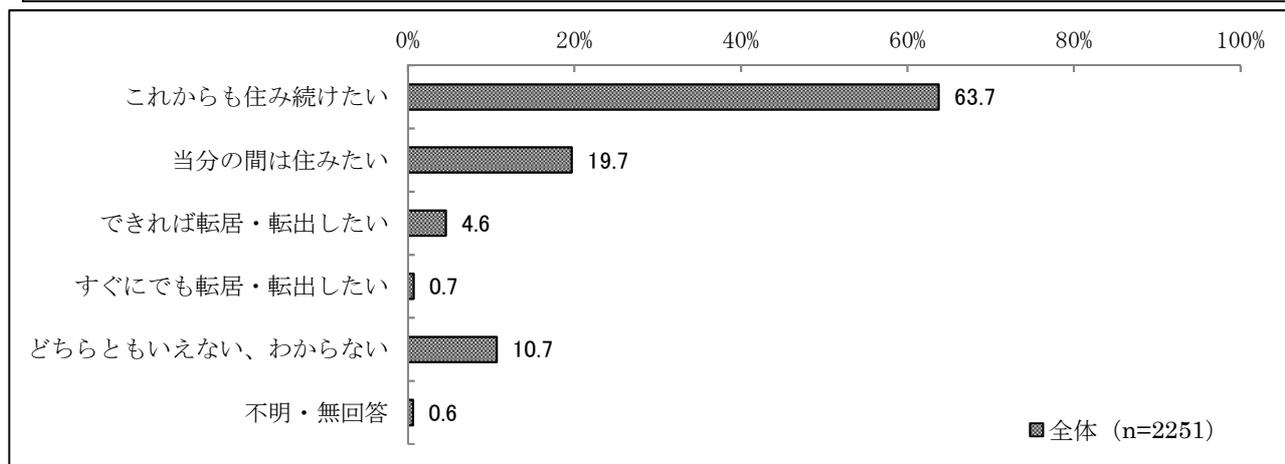
「新潟県外」の割合は、30～39歳(13.1%)で最も高く、1割強となった。

図 2-4 『以前の住まい』（地区別/性別/年齢別）



(3) 現在お住まいの区にこれからも住みたいか

問5 あなたは、現在お住まいの区（現住所）にこれからも住みたいと思いますか。（○は1つだけ）



— 『住みたい』が8割以上 —

【全体結果】

「これからも住み続けたい」(63.7%)の割合が最も高く、6割を超えた。「当分の間は住みたい」(19.7%)を合わせた『住みたい』(83.4%)は8割以上となった。

「できれば転居・転出したい」、「すぐにでも転居・転出したい」を合わせた『転居・転出したい』(5.3%)は1割に満たなかった。

【属性別結果】(次ページ図2-5参照)

① 地区別

『住みたい』の割合は、中央区(87.0%)で最も高く、いずれの地区でも8割近くになった。『転居・転出したい』の割合は、いずれの地区でも1割に満たなかった。

② 性別

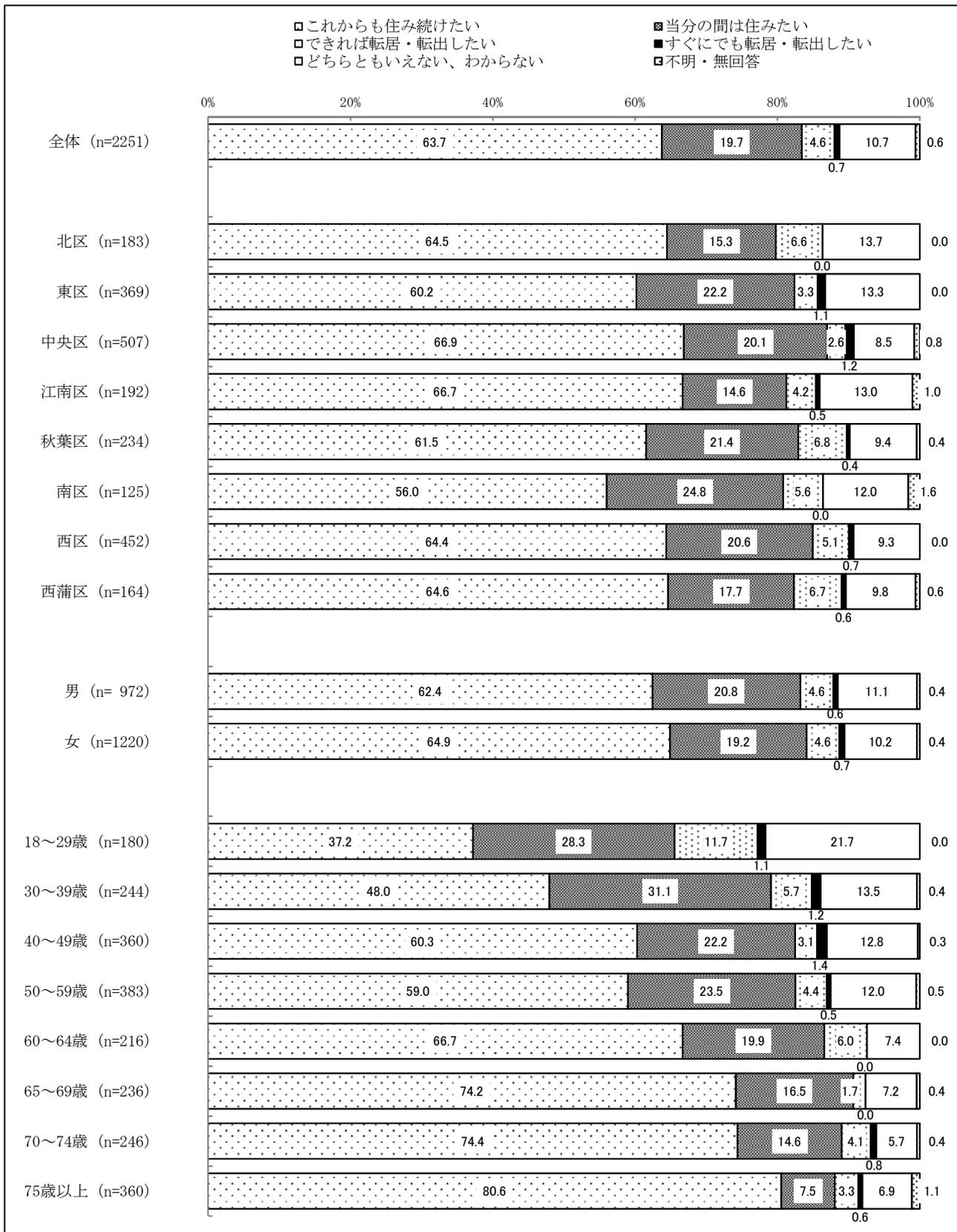
ほとんど差はみられない。

③ 年齢別

『住みたい』の割合は、65歳以上で約9割となった。

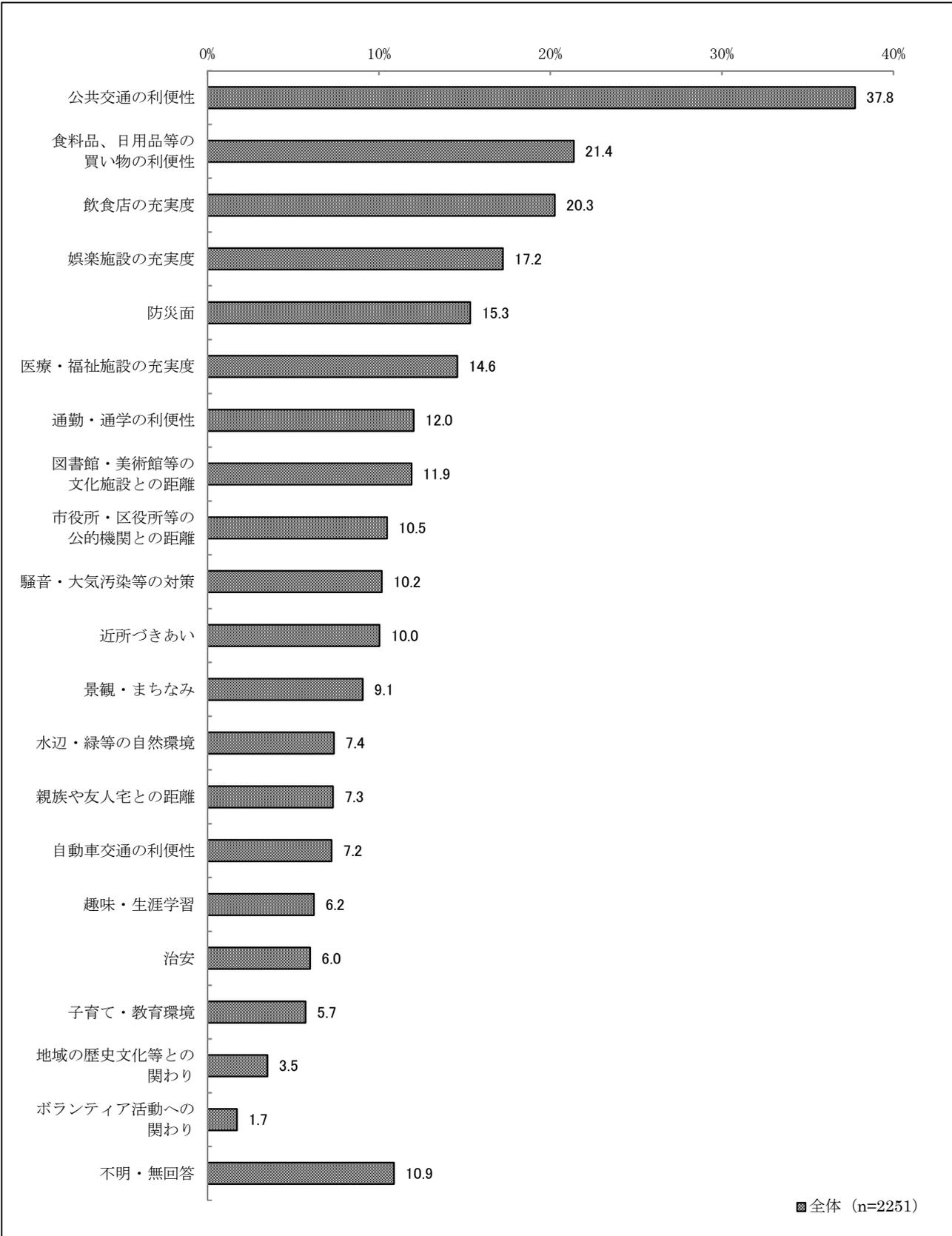
18~29歳では、『住みたい』(65.6%)の割合が低く、『転居・転出したい』(12.8%)の割合が高く、1割を超えている。

図 2-5 現在お住まいの区にこれからも住みたいか（地区別/性別/年齢別）



(4) 現在の住まいに“不満を感じている”項目

問6 現在のお住まいに“不満を感じている”項目は何ですか。下記の選択肢から3つまで選んで、下の回答欄に番号(1~20)をご記入ください。



— 最も不満を感じているのは「公共交通の利便性」で約4割 —

【全体結果】

現在の住まいに不満を感じている項目は、「公共交通の利便性」(37.8%)の割合が最も高く、約4割近くとなった。次いで、「食料品、日用品等の買い物の利便性」(21.4%)が約2割となった。次に「飲食店の充実度」(20.3%)、「娯楽施設の充実度」(17.2%)、「防災面」(15.3%)の順となった。

【属性別結果】(次ページ図2-6参照)

① 地区別

「公共交通の利便性」については、南区(64.8%)で割合が最も高く、次いで、江南区(53.1%)、西蒲区(52.4%)で5割を超えている。

「食料品、日用品等の買い物の利便性」については、西蒲区(36.6%)、北区(33.3%)で割合が高く、3割を超えている。

「医療・福祉施設の充実度」については、西蒲区(27.4%)、秋葉区(23.1%)、北区(21.9%)で割合が高く、2割を超えている。

② 性別

性別で5ポイント以上差がみられたのは、「図書館・美術館等の文化施設との距離」で男性(8.5%)と比較して女性(14.7%)で割合が高かった。

③ 年齢別

18～29歳、30～39歳の若い世代では「飲食店の充実度」、「娯楽施設の充実度」の割合が高い。

これらの点に魅力がないことが、「転居・転出したい」の割合が高いことに結びついていると思われる。

図 2-6 現在の住まいに“不満を感じている”項目（地区別/性別/年齢別） 1/4

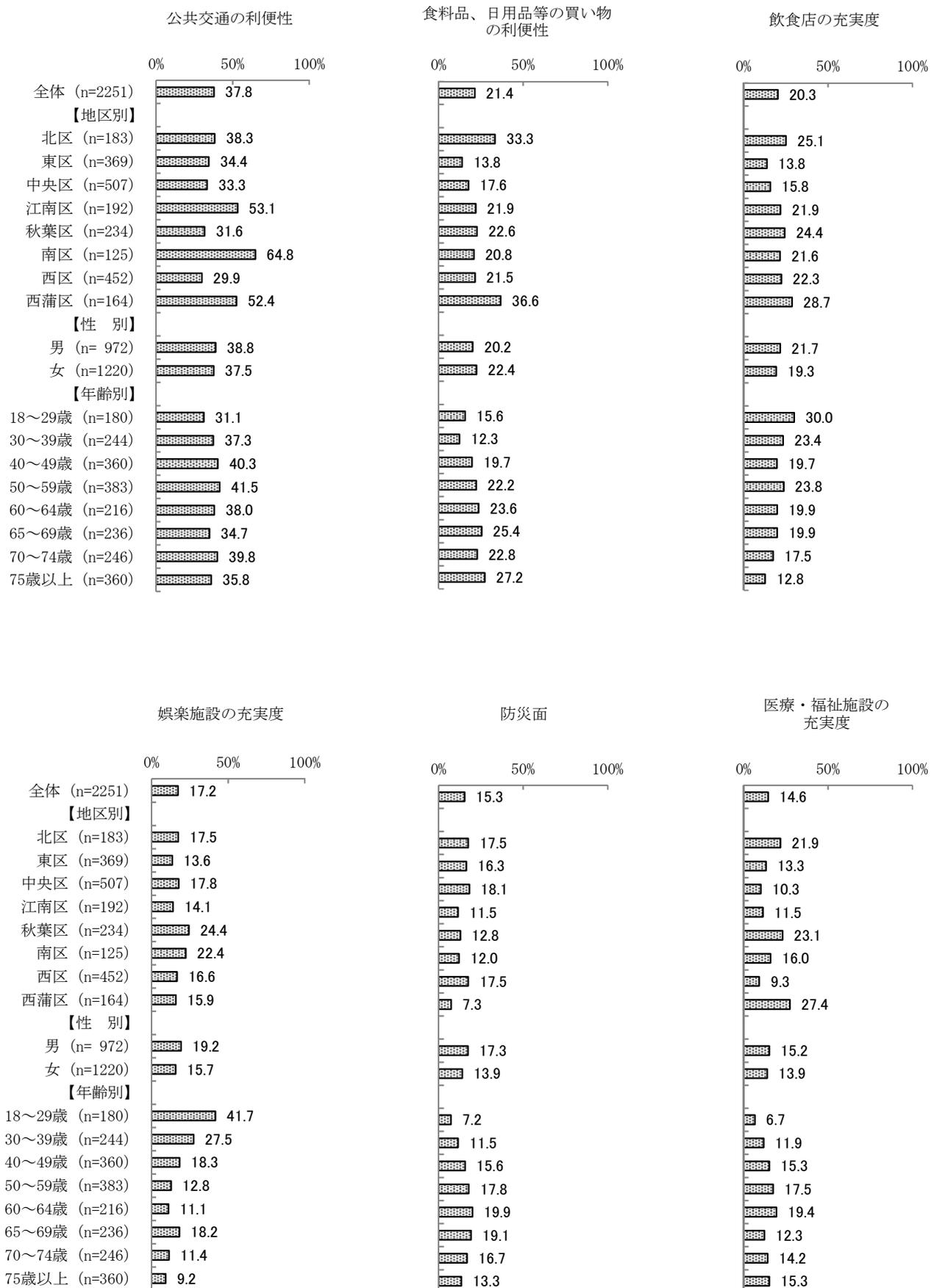


図 2-6 現在の住まいに“不満を感じている”項目（地区別/性別/年齢別） 2/4

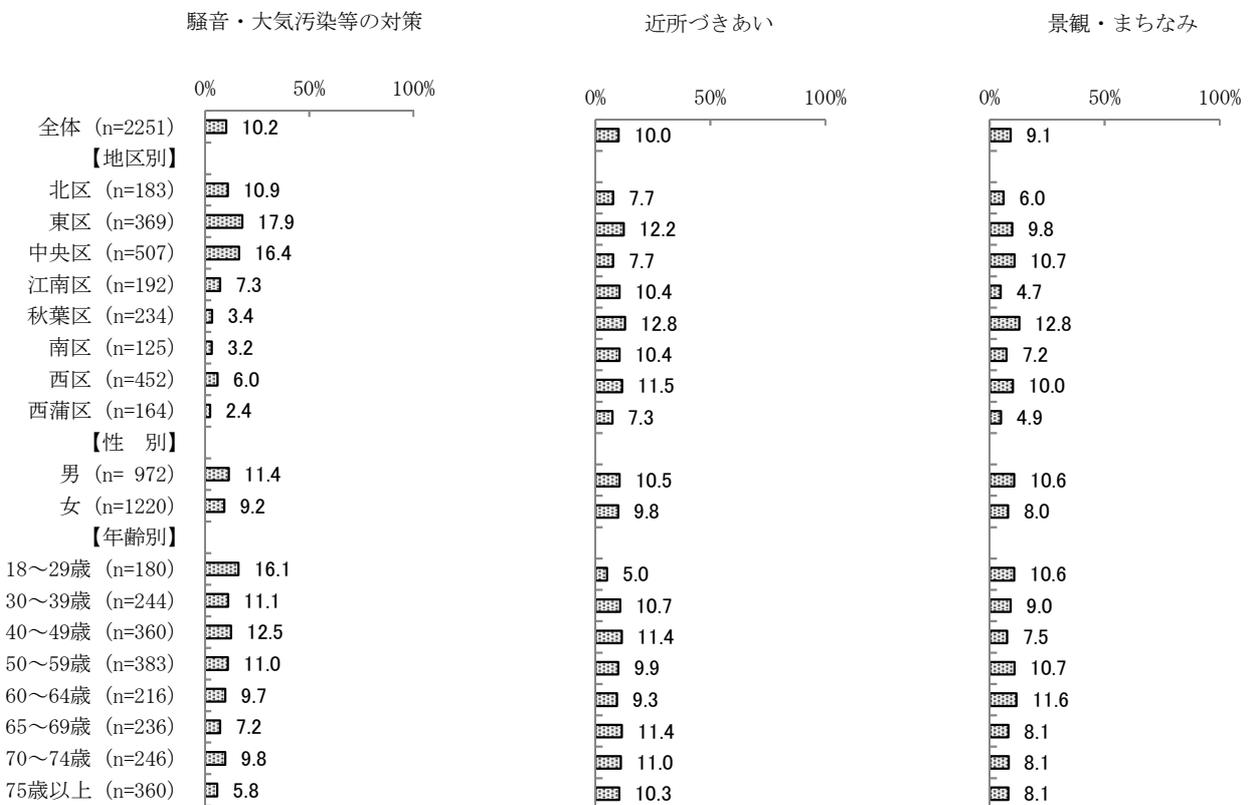
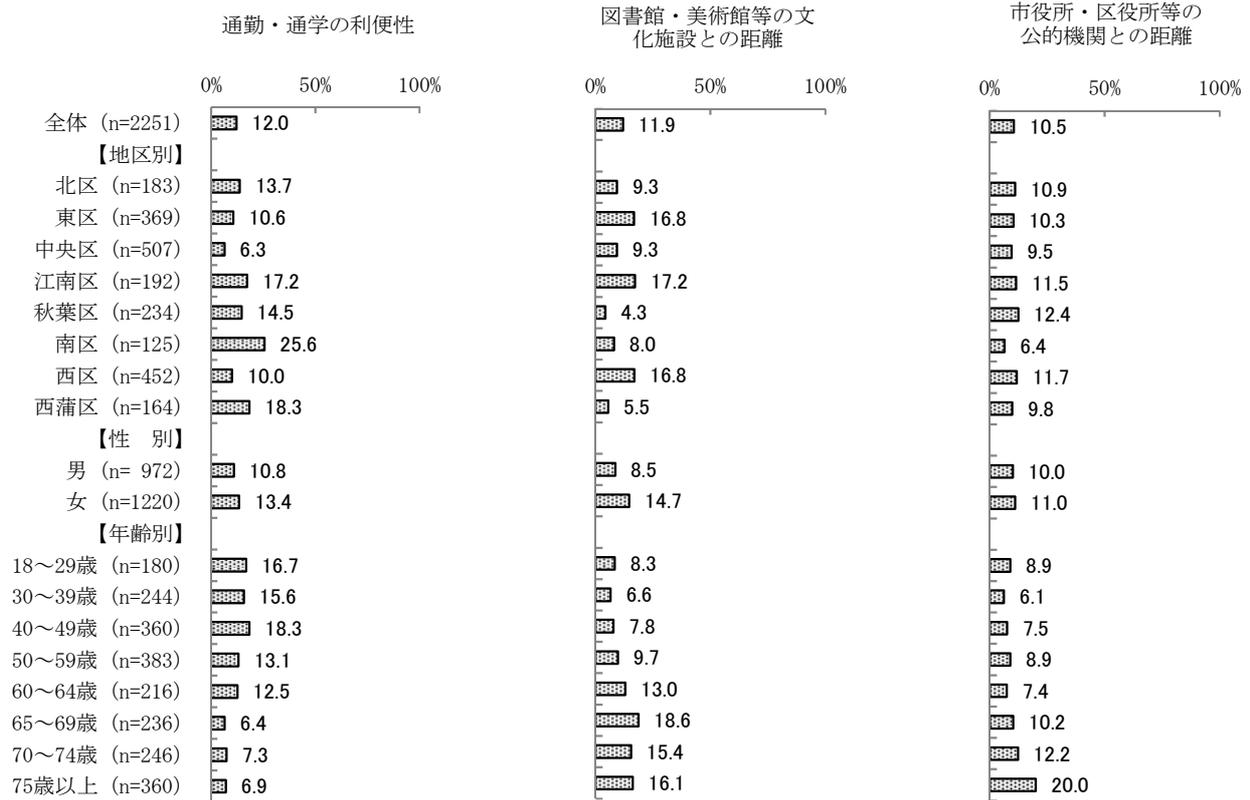


図 2-6 現在の住まいに“不満を感じている”項目（地区別/性別/年齢別） 3/4

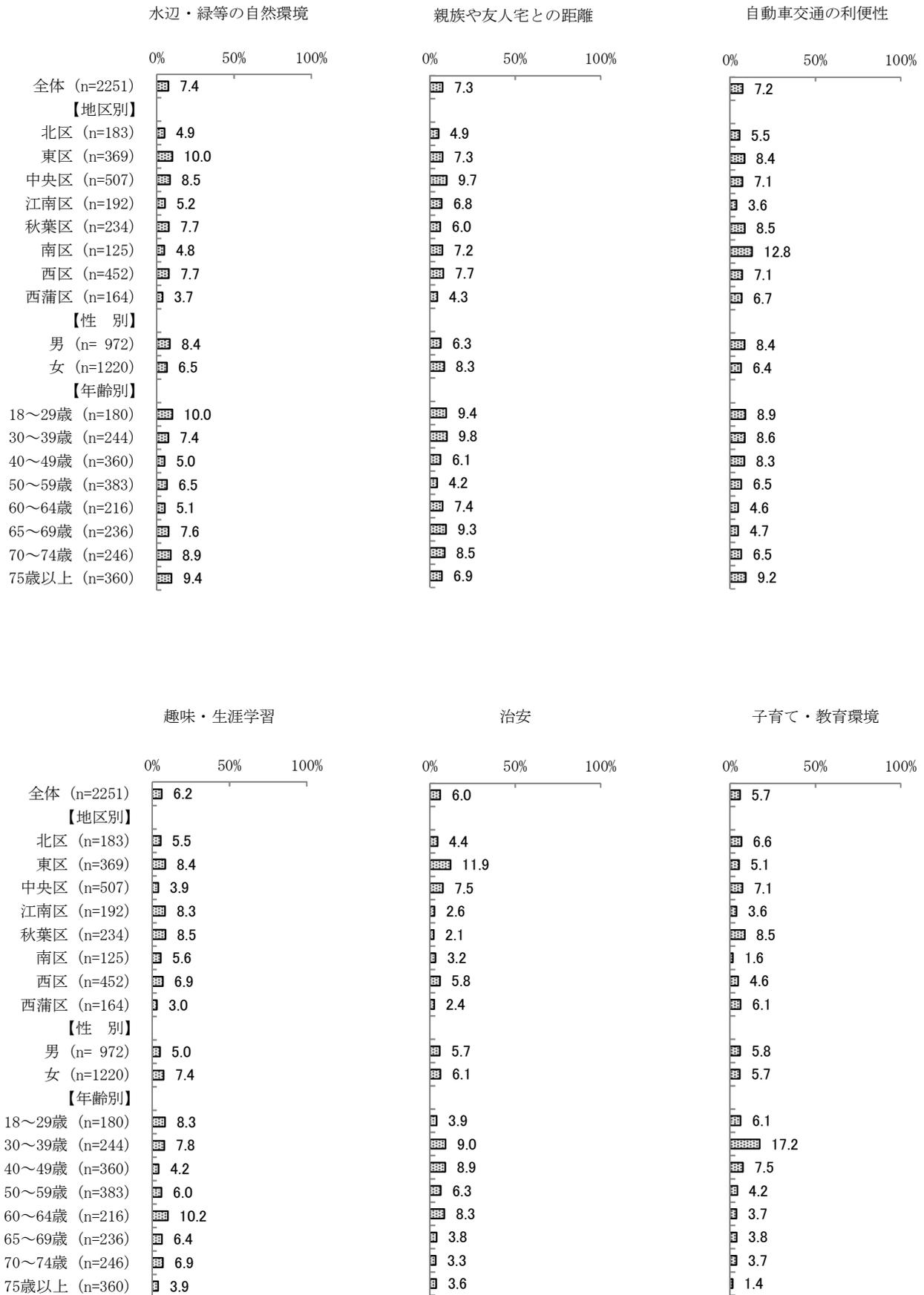
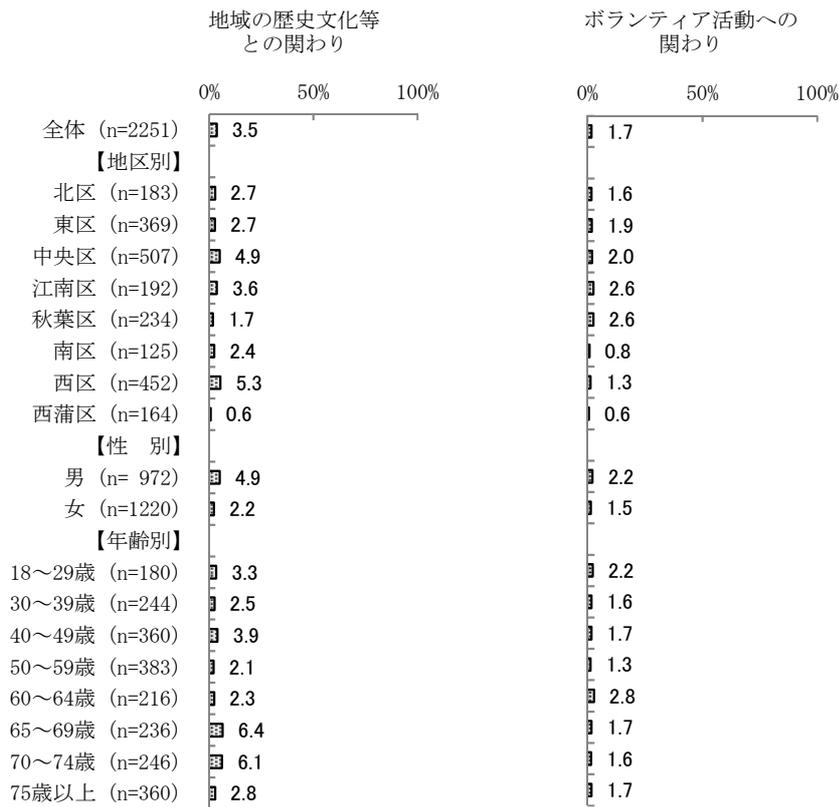


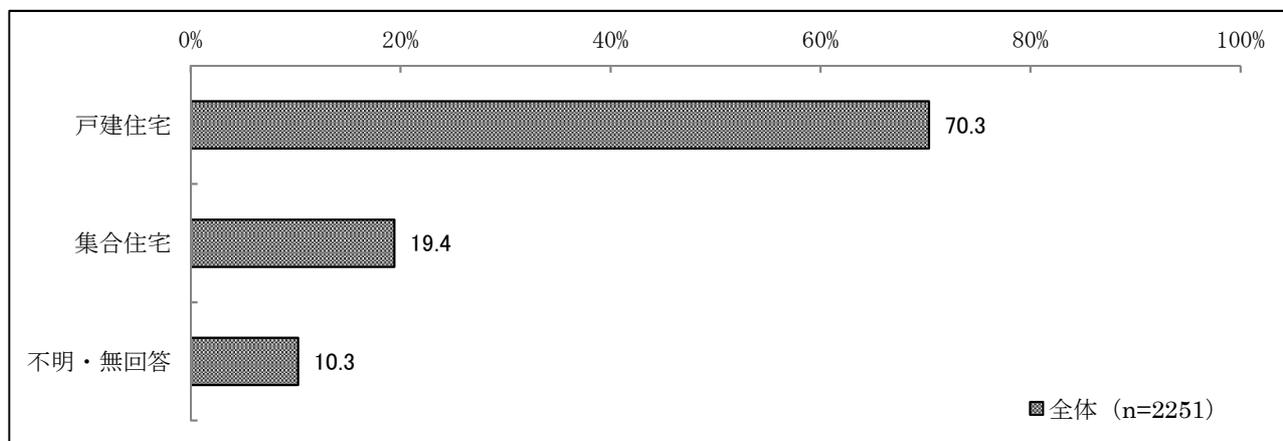
図 2-6 現在の住まいに“不満を感じている”項目（地区別/性別/年齢別） 4/4



(5) 住み替える際の希望

問7 あなたは、次に住み替える際にどのような住まいを希望しますか。
住み替える予定がない方でも、住み替えると仮定してお答えください。
下記の選択肢からそれぞれ番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

① 『戸建-集合』別



— 「戸建住宅」が7割以上 —

【全体結果】

「戸建住宅」(70.3%)が7割を超え、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図2-7-1参照)

① 地区別

「戸建住宅」は、中央区(60.0%)で割合が最も低くなった。中央区以外の地区では7割を超えた。

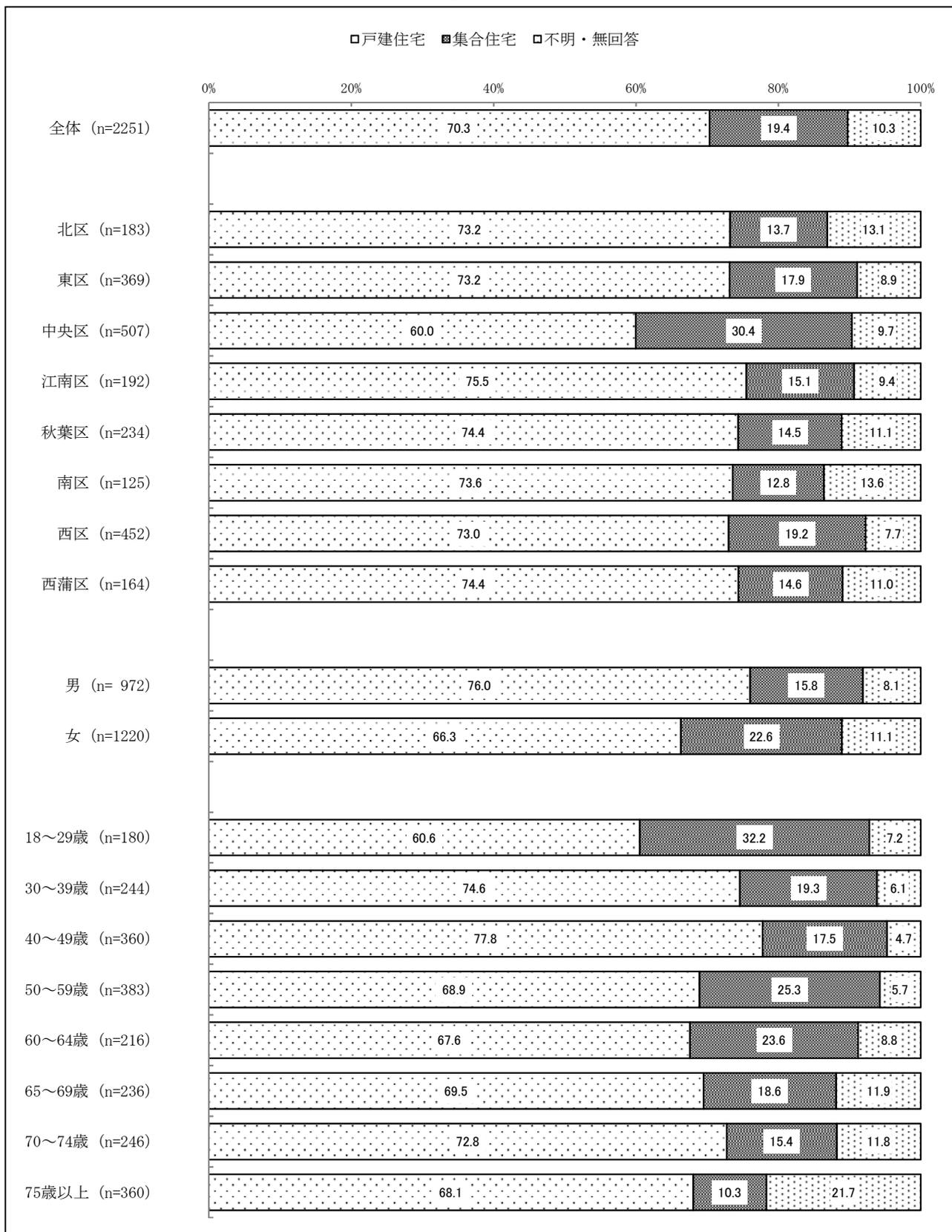
② 性別

「戸建住宅」は、女性(66.3%)と比較して男性(76.0%)の割合が高い。

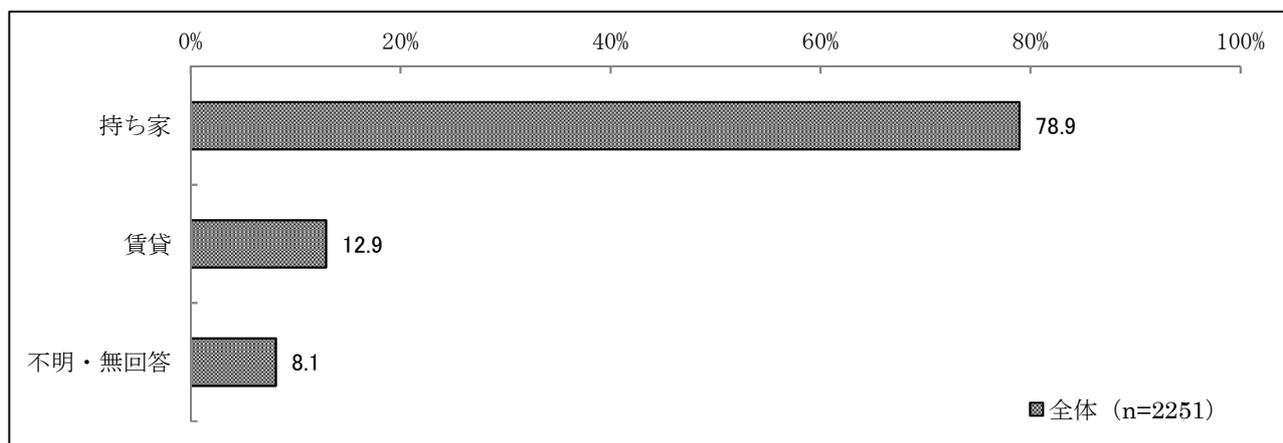
③ 年齢別

「戸建住宅」は、18~29歳(60.6%)で割合がやや低い。

図 2-7-1 住み替える際の希望 ①『戸建-集合』別（地区別/性別/年齢別）



② 『持ち家-賃貸』 別



— 「持ち家」が約8割 —

【全体結果】

「持ち家」(78.9%) が約8割となり、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図 2-7-2 参照)

① 地区別

「持ち家」がいずれの地区でも約8割近くとなった。

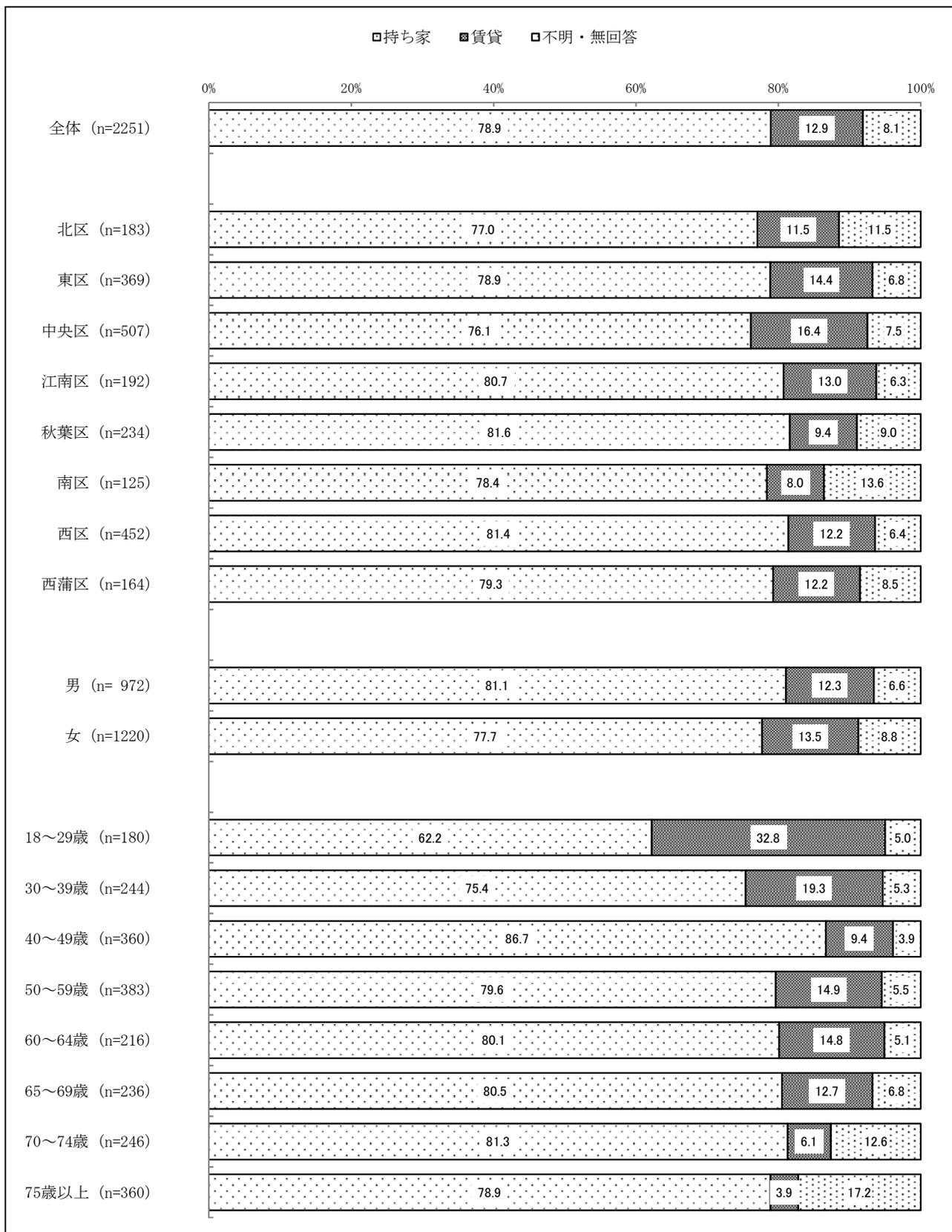
② 性別

「持ち家」は、女性(77.7%)と比較して男性(81.1%)の割合がやや高い。

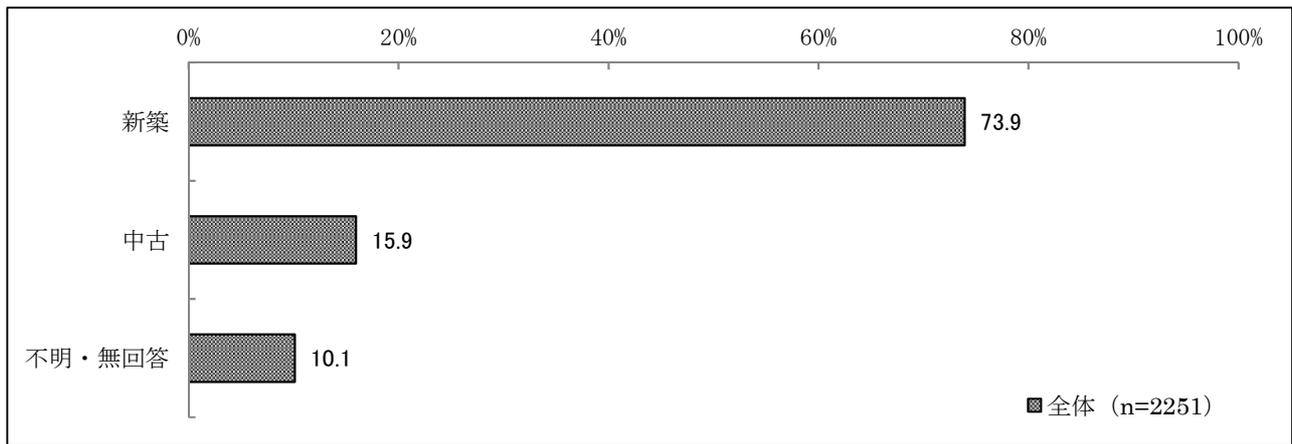
③ 年齢別

「持ち家」は、18~29歳(62.2%)で割合がやや低い。

図 2-7-2 住み替える際の希望 ②『持ち家-賃貸』別（地区別/性別/年齢別）



③ 『新築-中古』別



— 「新築」が7割以上 —

【全体結果】

「新築」(73.9%)が7割を超え、割合が高い。

【属性別結果】(次ページ図 2-7-3 参照)

① 地区別

「新築」がいずれの地区でも約7割近くとなった。

② 性別

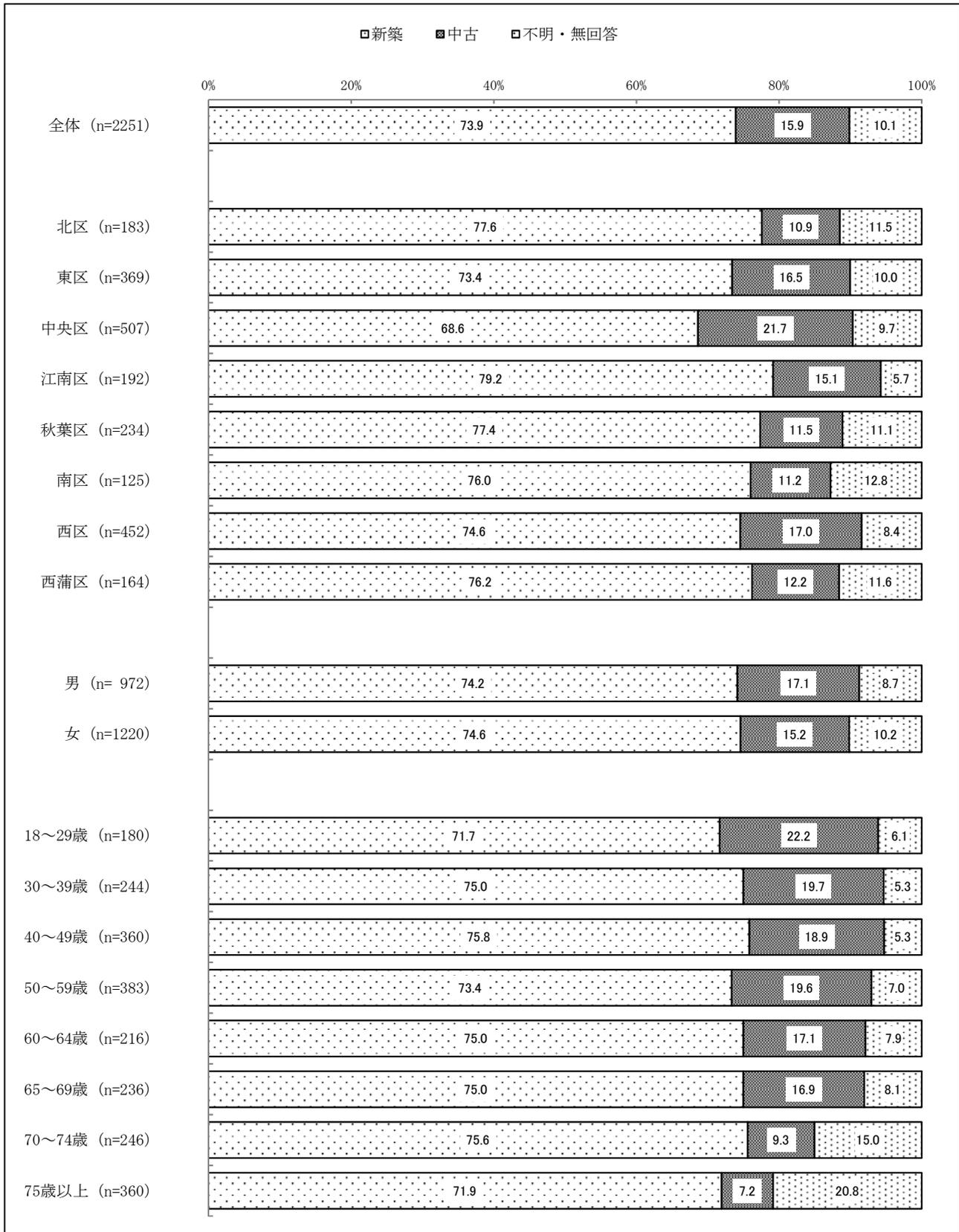
ほとんど差はみられない。

③ 年齢別

「新築」がいずれの年代でも7割を超えた。

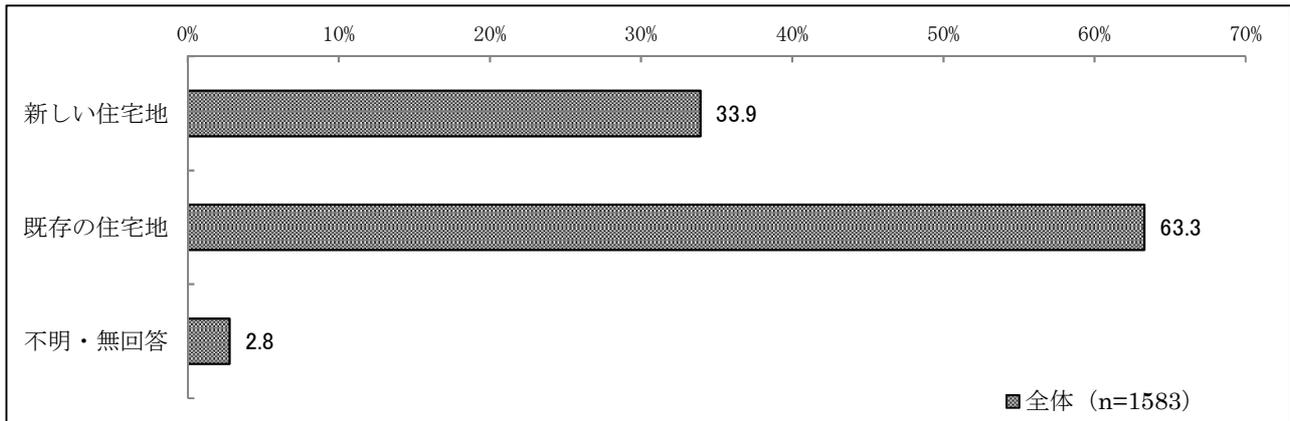
70歳以上で「中古」の割合が1割に満たなかった。

図 2-7-3 住み替える際の希望 ③『新築-中古』別 (地区別/性別/年齢別)



④ 住宅地について

問7上記で、「1. 戸建住宅」を選択した場合のみ番号を1つ選んで○をつけてください。



— 戸建住宅のうち「既存の住宅地」が約6割 —

【全体結果】

「既存の住宅地」(63.3%) が約6割となった。

【属性別結果】(次ページ図2-8参照)

① 地区別

「既存の住宅地」の割合は、南区(48.9%)、秋葉区(55.7%)で低く、他地区では6割を超えた。

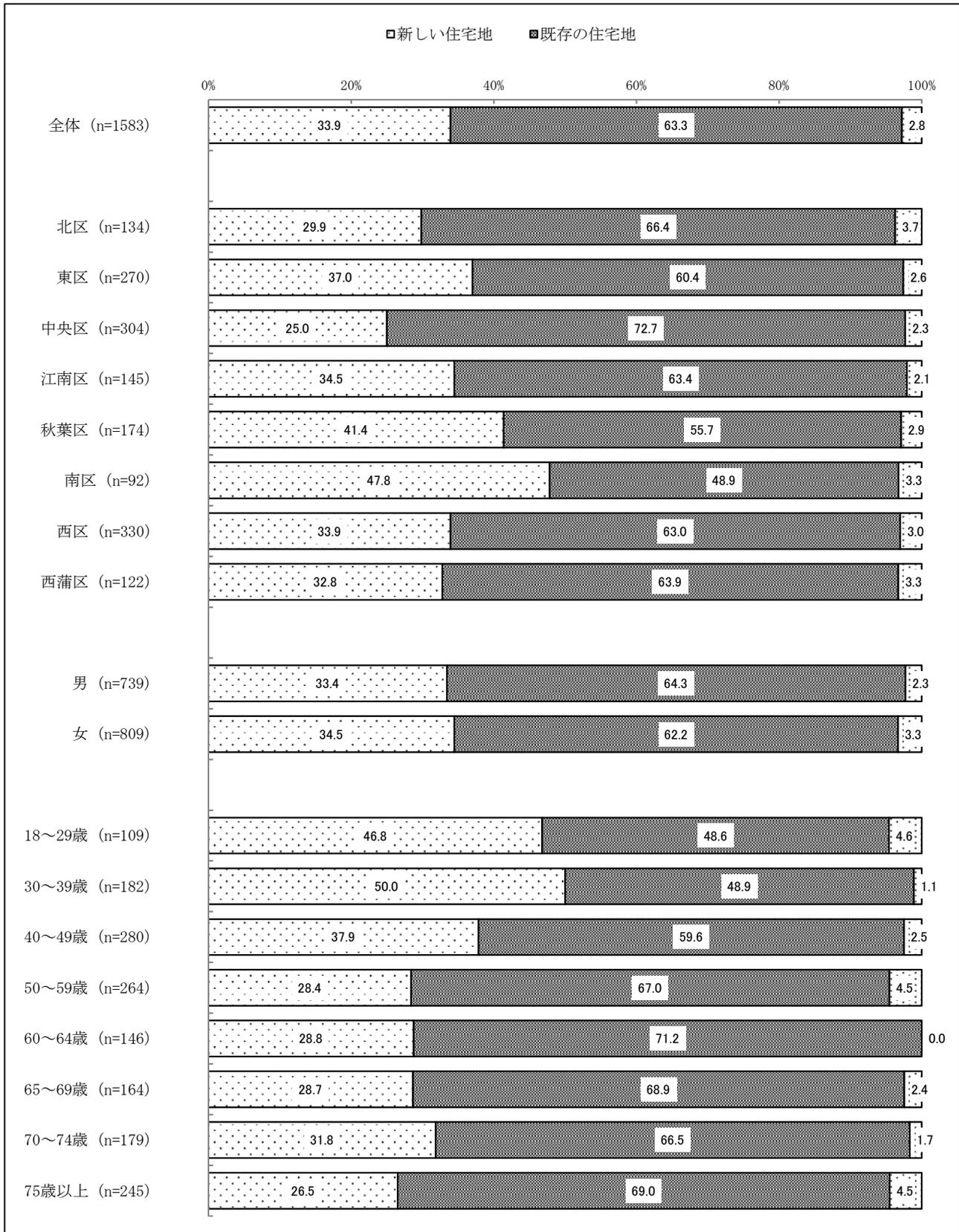
② 性別

ほとんど差はみられない。

③ 年齢別

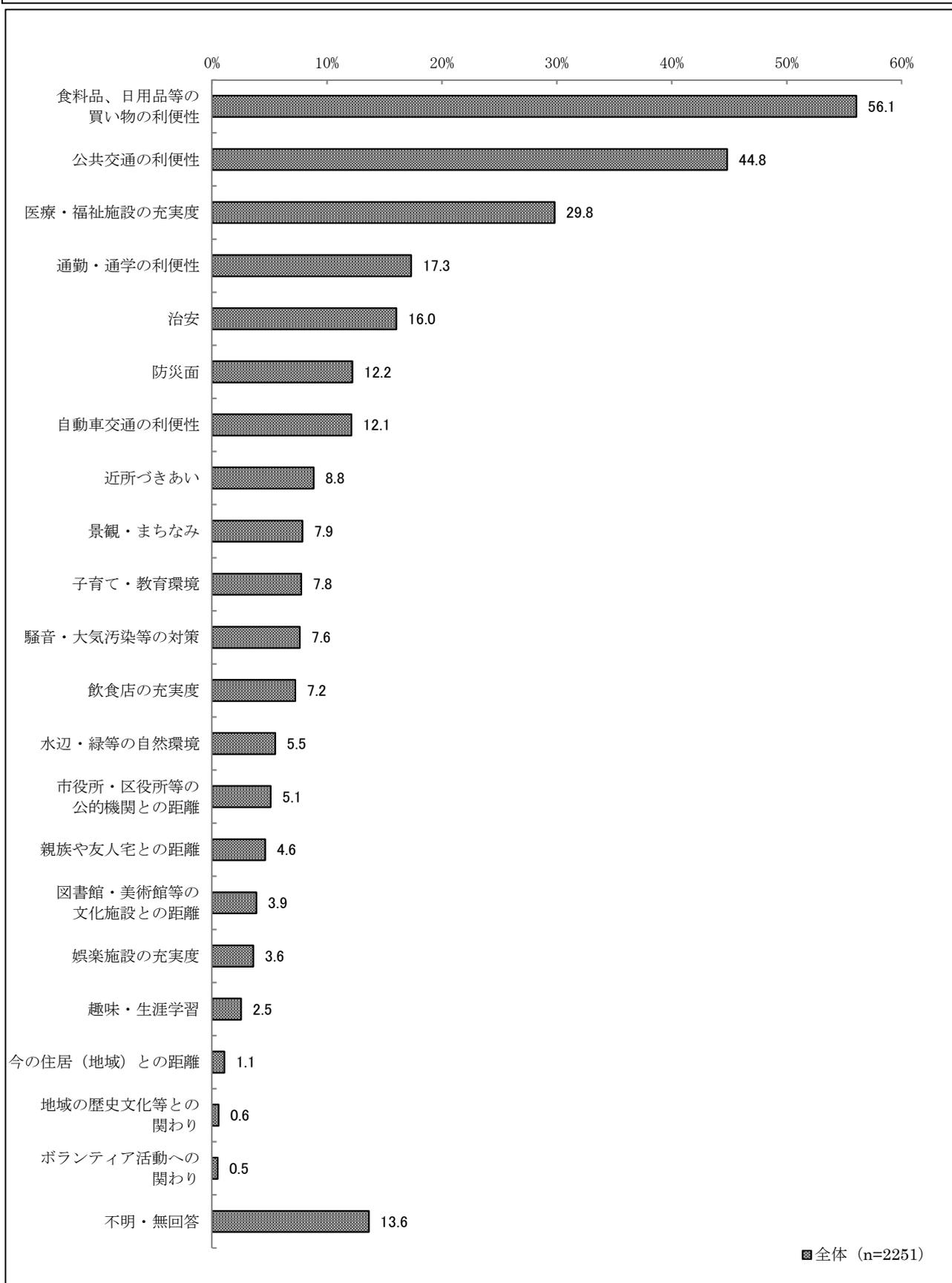
「新しい住宅地」の割合は、18~29歳(46.8%)、30~39歳(50.0%)の若年層で高い。

図 2-8 住み替える際の希望 ④住宅地について（地区別/性別/年齢別）



(6) 居住地を選ぶ際に重視したい項目

問7 また、居住地を選ぶ際に重視したい項目は何ですか。問6の選択肢から3つまで選んで、下の回答欄に番号(1~21)をご記入ください。



— 「食料品、日用品等の買い物の利便性」が5割強 —

【全体結果】

居住地を選ぶ際に重視したい項目は、「食料品、日用品等の買い物の利便性」(56.1%)の割合が最も高く、5割を超えた。次いで、「公共交通の利便性」(44.8%)が4割を超えた。次に「医療・福祉施設の充実度」(29.8%)、「通勤・通学の利便性」(17.3%)、治安(16.0%)の順となった。

【属性別結果】(次ページ図2-9参照)

① 地区別

「食料品、日用品等の買い物の利便性」については、南区(45.6%)以外の地区では5割を超え、割合が最も高い。「公共交通の利便性」は、南区(55.2%)と江南区(53.1%)で割合が高く、5割を超えた。

② 性別

「食料品、日用品等の買い物の利便性」は男性(50.0%)と比較して女性(62.0%)の割合が高い。

③ 年齢別

「医療・福祉施設の充実度」の割合については、50歳以上で割合が高く、3割を超えた。「通勤・通学の利便性」の割合については、39歳以下で割合が高く、3割を超えた。

39歳以下で不満を感じる割合が高かった「飲食店の充実度」、「娯楽施設の充実度」の割合は、重視したい項目としても、40歳以上と比較して割合が高くなっている。特に「娯楽施設の充実度」は、18~29歳で割合が高く、他の年齢と比較して割合の差が大きい。

図 2-9 居住地を選ぶ際に重視したい項目（地区別/性別/年齢別） 1/4

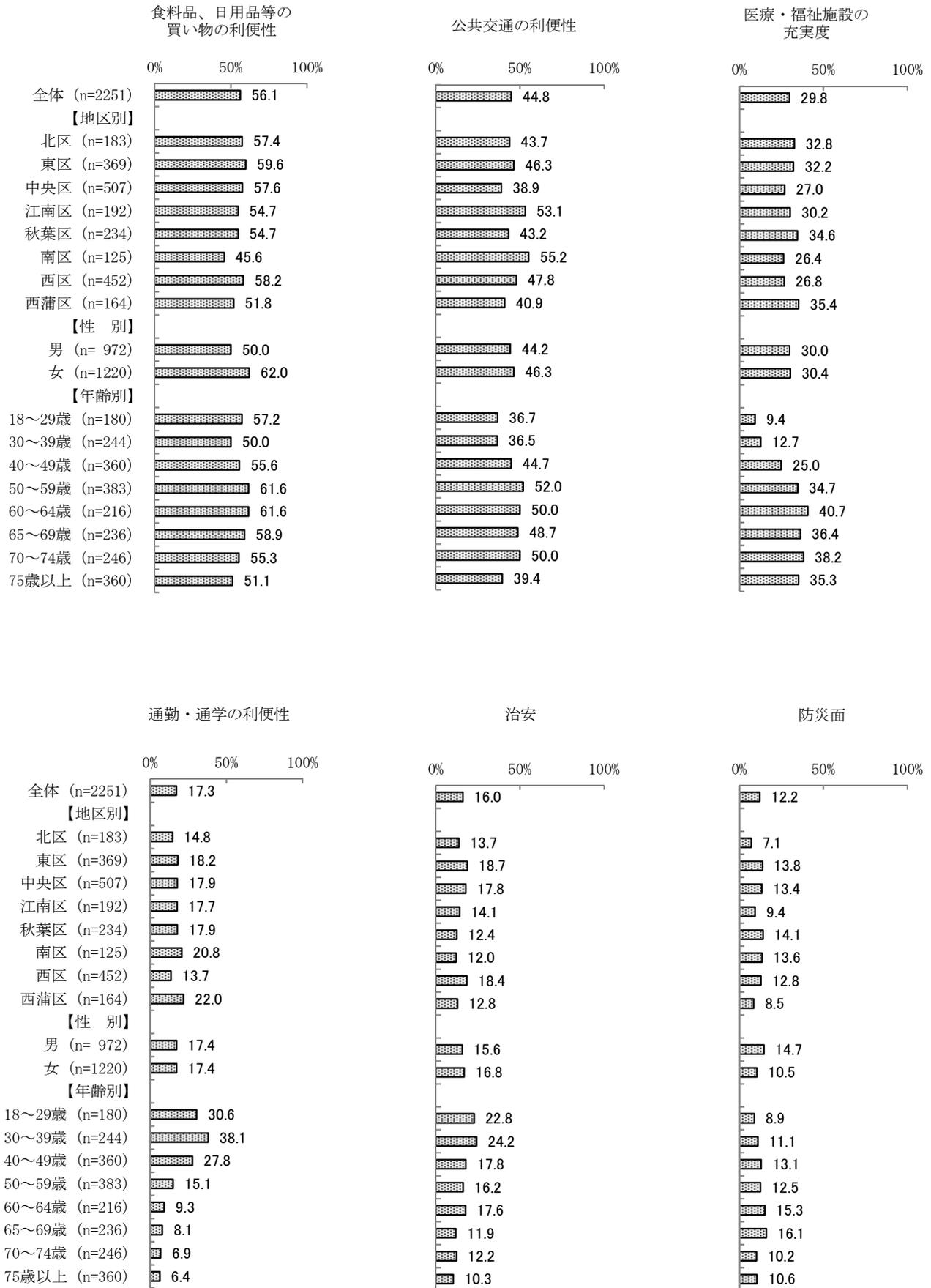


図 2-9 居住地を選ぶ際に重視したい項目（地区別/性別/年齢別） 2/4

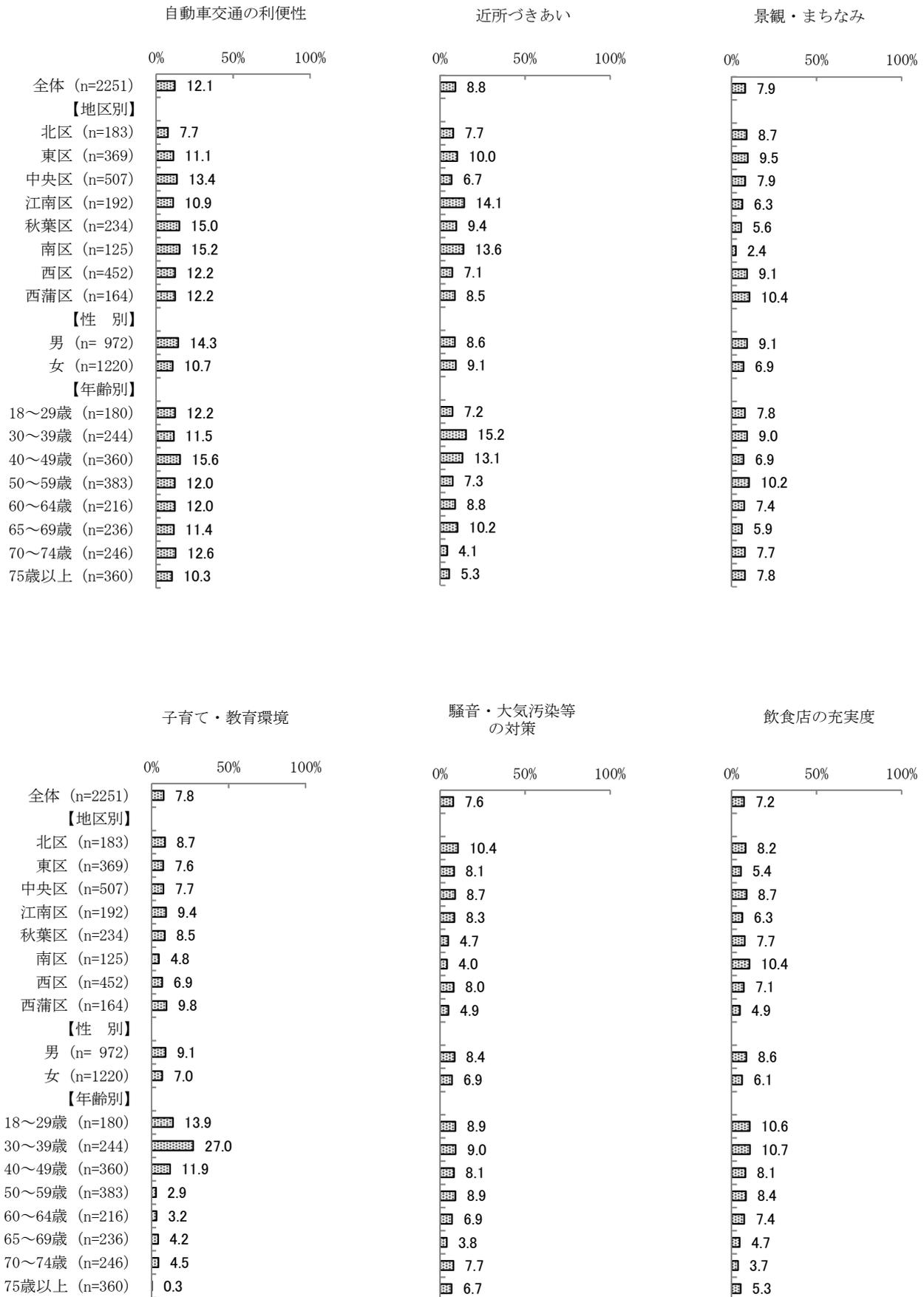


図 2-9 居住地を選ぶ際に重視したい項目（地区別/性別/年齢別） 3/4

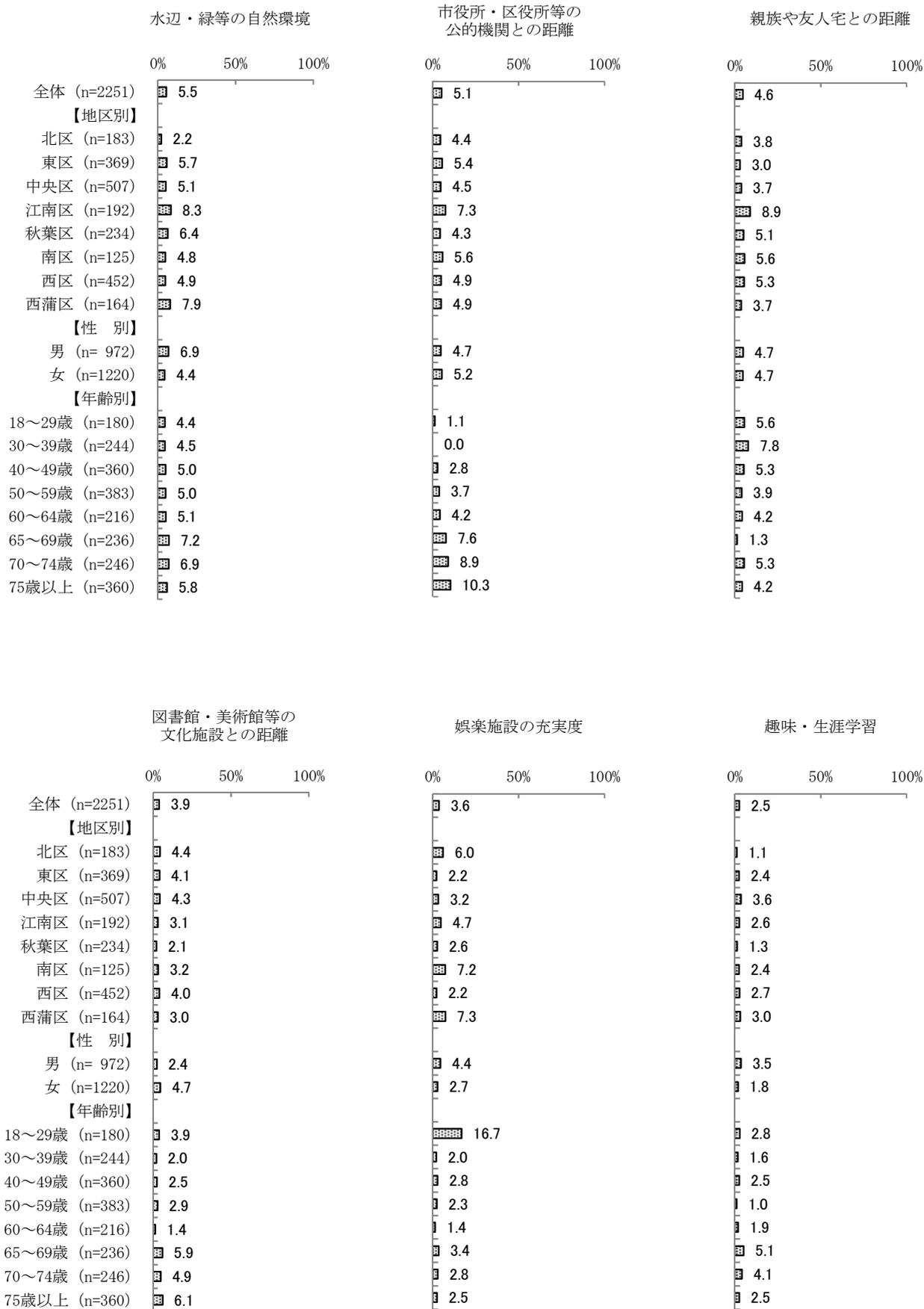


図 2-9 居住地を選ぶ際に重視したい項目（地区別/性別/年齢別） 4/4

